



## 2024年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年2月9日

上場会社名 株式会社GENOVA 上場取引所 東  
コード番号 9341 URL <https://genova.co.jp/>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 平瀬 智樹  
問合せ先責任者 (役職名) 上級執行役員財務部長 (氏名) 上田 明尚 TEL 03 (5766) 1820  
四半期報告書提出予定日 2024年2月9日 配当支払開始予定日 —  
四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
四半期決算説明会開催の有無：有 (機関投資家及び個人投資家向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年3月期第3四半期の連結業績 (2023年4月1日～2023年12月31日)

#### (1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	6,104	35.9	1,471	38.9	1,475	42.1	947	47.7
2023年3月期第3四半期	4,491	—	1,059	—	1,038	—	641	—

(注) 包括利益 2024年3月期第3四半期 949百万円 (47.9%) 2023年3月期第3四半期 642百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	53.46	53.02
2023年3月期第3四半期	39.59	37.57

(注1) 当社は、2022年3月期第3四半期については四半期連結財務諸表を作成していないため、2023年3月期第3四半期の対前年同四半期増減率については記載しておりません。

(注2) 当社は、2022年12月23日に東京証券取引所グロース市場に上場したため、2023年3月期第3四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益は、新規上場日から2023年3月期第3四半期会計期間末までの平均株価を期中平均株価とみなして算定しております。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第3四半期	6,651	5,186	75.1
2023年3月期	5,414	4,046	74.6

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 4,998百万円 2023年3月期 4,038百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2024年3月期	—	0.00	—	—	—
2024年3月期 (予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2024年3月期の連結業績予想 (2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,482	30.2	2,207	27.3	2,206	28.7	1,505	19.4	85.52

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 ー社（社名）ー、除外 ー社（社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期3Q	17,782,100株	2023年3月期	17,598,100株
② 期末自己株式数	2024年3月期3Q	38株	2023年3月期	ー株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期3Q	17,720,763株	2023年3月期3Q	16,203,901株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社グループで判断したものであり、リスクや不確定な要素等の要因が含まれており、実際の成果や業績等は記載の見通しとは異なる可能性がございます。なお、上記業績予想に関する事項は、【添付資料】3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算説明会内容の入手方法について)

当社は、2024年2月9日（金）に機関投資家及び個人投資家向けの決算説明会を開催する予定です。当日使用する決算説明会資料は、開催後速やかに当社ウェブサイトに掲載及びTDnetに開示する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)	8
(セグメント情報等)	9
(収益認識関係)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国の経済は、新型コロナウイルス感染症が克服されていく中、社会経済活動の正常化が進みインバウンドを含む人流も回復し、国内外の需要や経済活動に活気を取り戻しつつあります。一方で、ウクライナ情勢を含む地政学リスクの長期化に加え、中東情勢が緊迫化するなど不安定な状況は継続し、資源や資材価格を含む原材料やエネルギー価格の高騰、また円安進行が続くような金融資本市場の変動があり、我が国の景気の先行きへの影響には引き続き注意が必要な状況が継続しております。

このような事業環境のもと、当第3四半期連結累計期間においては、メディカルプラットフォーム事業の主力事業である「Medical DOC」については顧客事業所数が引き続き堅調に推移いたしました。スマートクリニック事業の「NOMOCaシリーズ」「CLINIC BOT」に加え、第2四半期に導入した新サービスの「NOMOCa AI chat」が7月の販売開始以降、継続的に反響を得ております。こちらのサービスはお客様のクリニックのFAQデータやWEBサイト情報をもとに、ChatGPTを搭載することで、複雑な質問に口語体で自然にAI chatbotが受け答えます。本サービスは当社のスマートクリニック事業が掲げるビジョンに沿っており、今後も拡大することを期待しております。

また、当社の成長ドライバーである人員においては、第1四半期に入社した新卒約50名の教育・育成に積極投資を継続しつつ、同時に即戦力となりえる人員の採用を継続的に行い、前年と同様に人的資本に対しては強化傾向にあります。このような人員が当社グループの主力事業のオーガニック成長に貢献するよう補強を続け、また、非連続的な成長の創出にも積極的に取り組むため、新事業・新サービス・新商材に向けた事業提携も引き続き検討を進めております。

セグメントごとの経営成績を示すと、以下のとおりです。

#### ①メディカルプラットフォーム事業

メディカルプラットフォーム事業においては、医療メディアであるMedical DOCを中心に、医療機関と患者様への適切な医療情報のマッチングを実現しております。当メディアでは、月間PV数は継続して伸長しており、10月には過去最高の1,350万超の月間PV数を獲得し、四半期平均でも過去最高の約1,280万PVまで推移を伸ばすことに成功しました。当第3四半期連結累計期間では、第2四半期から導入を開始したMedical DOCの中でも各治療や診療科目に特化した特化型サイトを追加で複数開設しました。当特化型サイトでは、各治療において基準を満たし、豊富な治療経験を持つ信頼のできるプロフェッショナルドクターの医療機関を紹介するサービスとして提供しております。超高齢化社会を迎えた現代の日本において健康寿命増進という社会課題を解決すべく、利用者の皆様により一層適切な情報へアクセスいただくことを目的としております。利用者に求められるコンテンツの掲載ができていることから、月間PV数の増加を背景に顧客事業所数が伸長し増収となり、当第3四半期連結累計期間の契約件数は2,871件となりました。

この結果、セグメント売上高は4,032,589千円（前年同四半期比46.6%増）、セグメント利益は2,193,183千円（前年同四半期比49.7%増）となりました。

#### ②スマートクリニック事業

スマートクリニック事業においては、主に、クリニックの業務効率化を進め、医療人材不足への対応・不要な医療事務業務の撲滅・患者さんの待ち時間短縮を目指しサービス開発を進めて参ります。第2四半期から販売を開始した「NOMOCa AI chat」はクリニックの受付業務の1つである「電話業務」にかかる時間やコストを削減し、医療DX化により、ヒトからAIへタスクシフトすることでスタッフの余裕ある時間を生み出し、更には患者様の利便性を向上することを目的としている取り組みになります。サービスの提供を開始してから医療機関からは継続的なニーズの獲得ができており、リリースからわずか3カ月で累計100件以上の契約件数まで成長し医療DX推進に貢献しています。

このような新たなサービスも含め、医療機関の事務業務量の課題を解決しつつ、「多くの待ち時間と短い診察時間」という不満を医療DXの推進を通じて解決することを引き続き目指します。

この結果、セグメント売上高は1,650,858千円（前年同四半期比22.5%増）、セグメント利益は313,451千円（前年同四半期比7.2%増）となりました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は6,104,436千円（前年同四半期比35.9%増）となり、営業利益は1,471,177千円（前年同四半期比38.9%増）、経常利益は1,475,411千円（前年同四半期比42.1%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は947,444千円（前年同四半期比47.7%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末と比べ1,236,728千円増加し、6,651,651千円となりました。これは主に現金及び預金が786,855千円増加したこと、売掛金が384,560千円増加したことによるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ97,069千円増加し、1,465,119千円となりました。これは主に1年内返済予定の長期借入金が41,984千円増加したこと、契約負債が34,118千円増加したこと、長期借入金が26,395千円増加したことによるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ1,139,658千円増加し、5,186,532千円となりました。これは主に新株発行により資本金が11,500千円、資本剰余金が11,500千円増加したことや、親会社株主に帰属する四半期純利益947,444千円を計上したことにより利益剰余金が増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想については、2023年5月12日の「2023年3月期 決算短信(連結)」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,860,506	4,647,362
売掛金	995,318	1,379,879
その他	142,682	152,271
貸倒引当金	△23,646	△47,761
流動資産合計	4,974,860	6,131,751
固定資産		
有形固定資産	152,847	150,724
無形固定資産	4,916	3,595
投資その他の資産		
繰延税金資産	68,489	63,698
その他	213,810	301,882
投資その他の資産合計	282,299	365,581
固定資産合計	440,063	519,900
資産合計	5,414,923	6,651,651

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	159,551	121,350
1年内返済予定の長期借入金	19,128	61,112
契約負債	249,119	283,237
未払法人税等	307,129	313,213
賞与引当金	45,000	6,000
その他	554,777	627,929
流動負債合計	1,334,706	1,412,843
固定負債		
長期借入金	6,941	33,336
その他	26,401	18,940
固定負債合計	33,342	52,276
負債合計	1,368,049	1,465,119
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	760,991	772,491
資本剰余金	660,991	672,491
利益剰余金	2,614,710	3,551,673
自己株式	-	△81
株主資本合計	4,036,693	4,996,575
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	1,687	1,966
その他の包括利益累計額合計	1,687	1,966
新株予約権	-	187,991
非支配株主持分	8,492	-
純資産合計	4,046,873	5,186,532
負債純資産合計	5,414,923	6,651,651

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
売上高	4,491,315	6,104,436
売上原価	1,218,299	1,507,693
売上総利益	3,273,015	4,596,742
販売費及び一般管理費	2,213,512	3,125,565
営業利益	1,059,502	1,471,177
営業外収益		
受取利息及び受取配当金	119	54
解約金収入	2,673	2,294
受取手数料	2,002	2,203
その他	873	77
営業外収益合計	5,668	4,630
営業外費用		
支払利息	1,404	394
株式公開費用	25,082	-
その他	597	1
営業外費用合計	27,084	395
経常利益	1,038,087	1,475,411
特別利益		
固定資産売却益	2,394	-
子会社清算益	3,174	-
特別利益合計	5,568	-
特別損失		
子会社清算損	2,690	-
特別損失合計	2,690	-
税金等調整前四半期純利益	1,040,965	1,475,411
法人税、住民税及び事業税	380,434	521,026
法人税等調整額	17,377	4,873
法人税等合計	397,811	525,900
四半期純利益	643,153	949,511
非支配株主に帰属する四半期純利益	1,558	2,067
親会社株主に帰属する四半期純利益	641,594	947,444

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益	643,153	949,511
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△827	278
その他の包括利益合計	△827	278
四半期包括利益	642,326	949,790
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	640,767	947,722
非支配株主に係る四半期包括利益	1,558	2,067

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

連結の範囲の重要な変更

当第3四半期連結会計期間において、株式会社GENOVAマーケティングは清算手続き中ですが、重要性が乏しいため、連結の範囲から除外しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)  
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2, 3)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	メディカル プラットフォーム 事業	スマートク リニック事 業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	2,751,056	1,348,096	4,099,153	392,161	4,491,315	-	4,491,315
セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	-	-	-	-	-	-
計	2,751,056	1,348,096	4,099,153	392,161	4,491,315	-	4,491,315
セグメント利益	1,464,812	292,271	1,757,084	116,104	1,873,189	△813,686	1,059,502

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、WEB制作・保守事業、コンサルティング事業等を含んでおります。  
2. セグメント利益の調整額△813,686千円は報告セグメントに配分していない全社共通費用であります。  
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)  
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2, 3)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	メディカル プラットフォーム 事業	スマートク リニック事 業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	4,032,589	1,650,858	5,683,448	420,988	6,104,436	-	6,104,436
セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	-	-	-	-	-	-
計	4,032,589	1,650,858	5,683,448	420,988	6,104,436	-	6,104,436
セグメント利益	2,193,183	313,451	2,506,635	114,540	2,621,175	△1,149,998	1,471,177

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、WEB制作・保守事業、コンサルティング事業等を含んでおります。  
2. セグメント利益の調整額△1,149,998千円は報告セグメントに配分していない全社共通費用であります。  
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報

前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

(単位: 千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	メディカルプラットフォーム事業	スマートクリニック事業	計		
一時点で移転される財又はサービス	2,679,310	1,111,646	3,790,956	149,716	3,940,673
一定の期間にわたり移転される財又はサービス	71,746	236,449	308,196	242,445	550,641
顧客との契約から生じる収益	2,751,056	1,348,096	4,099,153	392,161	4,491,315
その他の収益	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	2,751,056	1,348,096	4,099,153	392,161	4,491,315

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、WEB制作・保守事業、コンサルティング事業等を含んでおります。

当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

(単位: 千円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計
	メディカルプラットフォーム事業	スマートクリニック事業	計		
一時点で移転される財又はサービス	3,951,188	1,298,773	5,249,962	192,402	5,442,365
一定の期間にわたり移転される財又はサービス	81,400	351,236	432,637	228,585	661,222
顧客との契約から生じる収益	4,032,589	1,650,010	5,682,599	420,988	6,103,588
その他の収益 (注2)	—	848	848	—	848
外部顧客への売上高	4,032,589	1,650,858	5,683,448	420,988	6,104,436

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、WEB制作・保守事業、コンサルティング事業等を含んでおります。

2. 「その他の収益」の区分は機器等のレンタルに係る売上であります。